

大学番号：私261

注3

[平成31年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

姫路大学大学院 看護学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人弘徳学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	カチョウダイリ 課長代理 ・ オクムラ ミチヨ 奥村 徑代
電話番号	079-247-7301
（夜間）	079-247-7301
F A X	079-247-7739
e-mail	soumu@koutoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

姫路大学大学院

<看護学研究科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	17
7. その他全般的事項	18

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人弘徳学園

(2) 大学名

姫路大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒671-0101
兵庫県姫路市大塩町2042番2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウエダ マサカズ) 上田 正一 (平成16年4月)	—	—
学長	(ウエダ マサカズ) 上田 正一 (平成30年4月)	—	—
研究科長	(ウシオ レイコ) 牛尾 禮子 (平成29年4月)	—	—
学科長等	—	—	—

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程 博士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	3年	3人	—	—	基礎となる学部等 ・看護学部看護学科 ・看護学研究科看護学専攻 博士前期課程

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過 率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	3人 (—) [—]	—人 (—) [—]	3人 (—) [—]	—人 (—) [—]	1.99倍	— 倍	
志願者数	7 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	7 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	7 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	7 (—) [—]	— (—) [—]	5 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	2.33		1.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様に行ってください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	7 [—] (—)	— [—] (—)	5 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		7 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次	/		/		
4年次	/		/		
計	7 [—] (—)		12 [—] (—)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [—]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ (—)内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	7人	0人	平成28年度	—人	—人	
			平成29年度	—人	—人	
			平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	12人	0人	平成28年度	—人	—人	
			平成29年度	—人	—人	
			平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

(看護学研究科 看護学専攻 (D))

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護教育特論	1前	2			1						
	看護学研究特論 I	1前	2			4						
	看護学研究特論 II	1後	2			2						
	小計(3科目)	—	6	0	0	7	0	0	0	0	0	0
専門分野	成人・高齢者看護学特論	1後	2			3	1					
	成人・高齢者看護学特別研究 2~3通		4			8	1					
	障害児・者支援学特論	1後	2			3	1					
	障害児・者支援学特別研究 2~3通		4			3	2					
小計(4科目)	—	0	12	0	11	3	0	0	0	0	0	
合計(7科目)	—	6	12	0	12	3	0	0	0	0	0	
卒業要件及び履修方法												
共通科目の必修科目6単位、専門科目から研究課題に応じた選択科目6単位(特論2単位、特別研究4単位)の合計12単位を修得する。必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、本大学院が行う博士論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護教育特論	1前	2			1						
	看護学研究特論 I	1前	2			4						
	看護学研究特論 II	1後	2			2						
	小計(3科目)	—	6	0	0	7	0	0	0	0	0	0
専門分野	成人・高齢者看護学特論	1後	2			3	1					
	成人・高齢者看護学特別研究 2~3通		4			8	1					
	障害児・者支援学特論	1後	2			3	1					
	障害児・者支援学特別研究 2~3通		4			3	2					
小計(4科目)	—	0	12	0	11	3	0	0	0	0	0	
合計(7科目)	—	6	12	0	12	3	0	0	0	0	0	
卒業要件及び履修方法												
共通科目の必修科目6単位、専門科目から研究課題に応じた選択科目6単位(特論2単位、特別研究4単位)の合計12単位を修得する。必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、本大学院が行う博士論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護教育特論	1前	2			1						
	看護学研究特論Ⅰ	1前	2			4						
	看護学研究特論Ⅱ	1後	2			2						
	小計(3科目)	—	6	0	0	7	0	0	0	0	0	0
専門分野	成人・高齢者看護学特論	1後	2			3	1					
	成人・高齢者看護学特別研究	2～3通	4			8	1					
	障害児・者支援学特論	1後	2			3	1					
	障害児・者支援学特別研究	2～3通	4			3	2					
小計(4科目)	—	0	12	0	11	3	0	0	0	0	0	
合計(7科目)	—	6	12	0	12	3	0	0	0	0	0	
卒業要件及び履修方法												
共通科目の必修科目6単位、専門科目から研究課題に応じた選択科目6単位(特論2単位、特別研究4単位)の合計12単位を修得する。必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、本大学院が行う博士論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**【臨】**」による授業科目には「**【臨】**」、「**【連】**」による授業科目には「**【連】**」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	4 科目	0 科目	7 科目	3 科目 [0]	4 科目 [0]	0 科目 [0]	7 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{7} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校舎敷地	31,440㎡	0㎡	0㎡	31,440㎡					
	運動場用地	16,359㎡	0㎡	0㎡	16,359㎡					
	小 計	47,799㎡	0㎡	0㎡	47,799㎡					
	そ の 他	2,965㎡	0㎡	0㎡	2,965㎡					
	合 計	50,764㎡	0㎡	0㎡	50,764㎡					
(2) 校舎	専 用	8,867 8,837 27,174 ㎡ (27,174㎡)	共 用	15,849 15,879 0㎡ (0㎡)	共用する他の学校等の専用	2,384 0㎡ (0㎡)	計	27,100 27,174㎡ (27,174㎡)	校舎の用途変更に伴う変更。(元)(2)	
	講 義 室	28 29室	演 習 室	35 31室	実験実習室	35 41室	情報処理学習施設	1室 (補助職員 0人)	語学学習施設	1室 (補助職員 0人)
(3) 教室等	新設学部等の名称				室 数		平成31年4月専任教授を新規採用のため(元)博士前期課程と兼用			
	看護学研究科 看護学専攻				18 46 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	・ 図書、学術雑誌、視聴覚資料は看護学科及び看護学専攻修士課程と共用の数 ・ 図書45,889 44,135 41,993冊、学術雑誌483 578 646種、視聴覚資料1,519 1,453 1,380点(大学共用)		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					点	点
	看護学研究科	18,950 [1,400] (18,183 [1,411]) (17,839 [1,395]) (17,600 [1,340])	77 [20] (74 [25]) (76 [25]) (77 [20])	14 [14] (17 [17]) (14 [14])	790 (786) (758) (730)	0 ()	0 ()			
	計	18,950 [1,400] (18,183 [1,411]) (17,839 [1,395]) (17,600 [1,340])	77 [20] (74 [25]) (76 [25]) (77 [20])	14 [14] (17 [17]) (14 [14])	790 (786) (758) (730)	0 ()	0 ()			
(6) 図書館	面 積		開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	389㎡		87 83 81席		45,000冊					
(7) 体育館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1,415㎡		テ ニ ス コ ー ト 4 面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	1,100千円	1,100千円	1,100千円		
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	3,500千円	2,400千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		900千円	700千円	700千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			入学検定料、手数料収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	姫路大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学研究科 看護学専攻											
博士前期課程	2	6	-	12	修士(看護学)	0.66	0.83	-	平成29	兵庫県姫路市大塚町2042番2	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(看護学)	1.99	1.66	-	平成31	同上	
大学院全体	-	9	-	21	-	-	-	-	-	-	
看護学部											
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.02	1.01	-	平成19	同上	
教育学部											
こども未来学科(通信教育課程)	4	80	3年次10	340	学士(教育学)	0.83	1.17	-	平成20	同上	
こども未来学科	4	1,000	3年次300	4,600	学士(教育学)	0.06	0.08	-	平成20	同上	
大学全体	-	1,180	310	5,340	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	豊岡短期大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
こども学科(通信教育部)	2	40	-	80	短期大学士(幼児教育学)	0.89	1.02	-	平成17	兵庫県豊岡市戸牧160番地	
こども学科	-	2,800	-	7,400	短期大学士(幼児教育学)	0.41	0.48	-	平成23	同上	
幼児専攻	2	1,000	-	2,000	短期大学士(幼児教育学)	0.86	0.86	-	平成23	同上	
保育専攻	3	1,800	-	5,400	短期大学士(幼児教育学)	0.22	0.27	-	平成23	同上	
大学全体	-	270	-	700	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(看護学研究科 看護学専攻(D))

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	牛尾 禮子 (70) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		看護学研究特論Ⅰ 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	奥 祥子 (62) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	掛橋 千賀子 (72) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	郷間 英世 (67) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	小林 廣美 (72) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	高橋 幸子 (64) ＜平成31年4月＞ Doctor of Education(米国)
		看護学研究特論Ⅱ
専	教授	西村 伸子 (68) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	藤野 文代 (69) ＜平成31年10月＞ 博士(医学)
		成人・高齢者看護学特別研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	牛尾 禮子 (70) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		看護学研究特論Ⅰ 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	奥 祥子 (62) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	掛橋 千賀子 (72) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	郷間 英世 (67) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	小林 廣美 (72) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	高橋 幸子 (64) ＜平成31年4月＞ Doctor of Education(米国)
		看護学研究特論Ⅱ
専	教授	西村 伸子 (68) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	藤野 文代 (69) ＜平成31年10月＞ 博士(医学)
		成人・高齢者看護学特別研究

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	牛尾 禮子 (71) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		看護学研究特論Ⅰ 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	奥 祥子 (63) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	掛橋 千賀子 (73) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	郷間 英世 (68) ＜平成31年4月＞ 博士(医学)
		看護学研究特論Ⅰ 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	小林 廣美 (73) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	高橋 幸子 (65) ＜平成31年4月＞ Doctor of Education(米国)
		看護学研究特論Ⅱ
専	教授	西村 伸子 (69) ＜平成31年4月＞ 博士(学術)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	藤野 文代 (70) ＜平成31年10月＞ 博士(医学)
		成人・高齢者看護学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森崎 直子 (46) <平成31年4月> 博士(保健科学)
		成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	山口 三重子 (66) <平成31年4月> 博士(法学)
		看護教育特論 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	柳 修平 (68) <平成31年4月> 博士(保健学)
		看護学研究特論Ⅱ 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	鈴木 千絵子 (53) <平成31年4月> 博士(看護学)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	准教授	幸福 秀和 (70) <平成31年8月> 修士(教育学)
		障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	准教授	福川 京子 (54) <平成31年4月> 博士(看護学)
		成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	准教授	二重 佐知子 (54) <平成31年4月> 博士(学校教育学)
		障害児・者支援学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森崎 直子 (46) <平成31年4月> 博士(保健科学)
		成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	山口 三重子 (66) <平成31年4月> 博士(法学)
		看護教育特論 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	柳 修平 (68) <平成31年4月> 博士(保健学)
		看護学研究特論Ⅱ 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	鈴木 千絵子 (53) <平成31年4月> 博士(看護学)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	准教授	幸福 秀和 (70) <平成31年8月> 修士(教育学)
		障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	准教授	福川 京子 (54) <平成31年4月> 博士(看護学)
		成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	准教授	二重 佐知子 (54) <平成31年4月> 博士(学校教育学)
		障害児・者支援学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森崎 直子 (47) <平成31年4月> 博士(保健科学)
		成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	山口 三重子 (67) <平成31年4月> 博士(法学)
		看護教育特論 障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	教授	柳 修平 (69) <平成31年4月> 博士(保健学)
		看護学研究特論Ⅱ 成人・高齢者看護学特別研究
専	教授	鈴木 千絵子 (54) <平成31年4月> 博士(看護学)
		成人・高齢者看護学特別研究
専	准教授	幸福 秀和 (71) <平成31年8月> 修士(教育学)
		障害児・者支援学特論 障害児・者支援学特別研究
専	准教授	福川 京子 (55) <平成31年4月> 博士(看護学)
		成人・高齢者看護学特論 成人・高齢者看護学特別研究
専	准教授	二重 佐知子 (55) <平成31年4月> 博士(学校教育学)
		障害児・者支援学特別研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	3	0	0	15	0	12	3	0	0	15	0
(11)	(3)	(0)	(0)	(14)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
8	6	1				8	6	1			
(7)	(6)	(1)				(7)	(6)	(1)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	3	0	0	15	0	12	3	0	0	15	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
8	6	1				8	6	1			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
75	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻（D）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
設置の趣旨の中の教育内容等の改善を図るための組織的な研修等で、「平成30年度後半に、研究科附属の成人・高齢者、障害児・者支援研究センター（仮）を開設し、研究センターを中心に、成人・高齢者看護及び障害児・者支援に関する支援や教育・研究をより積極的にを行う」としている。	地域のニーズ調査や内容の検討を十分に行うことで時間が必要となり、令和元年に、研究科附属の成人・高齢者、障害児・者支援研究センター（仮）を開設することとした。（令和元年履行状況報告済み） 2019年11月に健康・教育実践研究センターを開所した。

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成29年4月、大学院研究科（博士前期課程）開設に伴い「姫路大学大学院看護学研究科教育改善実施（FD）委員会」を設置し活動をしている。構成メンバーは5名であったが、令和元年度、博士後期課程の開設によりメンバーを7名配置した。令和2年度も7名配置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 看護学研究科教育改善実施（FD）委員会を定期的に開催し、FD委員長が7名の教員を招集し活動の内容について検討を重ね、FD委員会で検討した結果について、研究科委員会において6回報告している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 看護学研究科教育改善実施（FD）委員会では姫路大学大学院看護学研究科教育改善実施（FD）委員会規程のとおり以下の事項を協議し実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD推進のための企画及び実施に関すること。 ・FDに係る調査・研究に関すること。 ・FDに関する報告書等の作成に関すること。 ・その他FDに関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 看護学研究科教育改善実施（FD）委員会では、以下の（1）～（3）の内容等を実施している。</p> <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）FD活動方針 （2）外部講師の教員研修会 （3）授業評価アンケート <p>これまでの取り組みを継続しつつ、博士後期課程の教育・研究者としての能力向上を目指した研修内容として、以下の取り組みを定期的に行うこととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 研究科教員の教育・研究の質を向上させるためのニーズを把握し、資質向上の課題を明確にする ② ①の結果に基づき、FD研修内容を計画、実施する ③ 教員組織全体及び教員個人の教育研究の成果を共有する ④ 学外の研究者を招聘し、研究や教育活動の知識の向上を図る ⑤ アカデミック・ハラスメントやパワー・ハラスメントを回避するための研修を実施する <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 2019年8月22日に研究科教員 郷間英世教授、西村伸子教授、二重佐知子准教授3名による「教育研究報告会」、9月19日に弁護士法人港国際法律事務所 井上翔太弁護士による「ハラスメント防止対策について」とした研修を行った。 2020年3月28日に岡山県立大学情報工学部 渡辺 富夫教授より、本学大学院教員及び院生の研究的視点を広げ、各自の研究力向上のために他分野・他領域研究の紹介という講義内容でFD研修をコロナ感染症に気を付けながら実施する予定としていたが、感染症の状況が拡大していき延期とした。 研究科教員、学部教員、大学院生計45名が参加した、弁護士法人港法律事務所 井上翔太弁護士による「ハラスメント防止対策について」のアンケート結果では、45名中、理解できた27名、大変理解できた18名という結果だった。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

看護学研究科教育改善実施（FD）委員会では、研究科教員による「教育研究報告会」を今年度に引き続き、来年度も実施する予定である。各々の教員は、FDで実施された研修内容について、アンケート結果から、理解を深め、意識の向上が図れたことがわかった。

今年度は、昨年度のFD研修の内容から、教員組織全体及び教員個人の教育研究の成果を共有することにより、質の高い授業、研究活動の向上を図っていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

看護学研究科において、年1回前期、後期分として実施しており、今年度も実施する。授業評価法として、授業修了後に授業評価アンケート調査を実施する。実施に際しては、学生の不利益にならないようプライバシーに配慮して行う。

調査終了後、データの分析を行い、問題点の抽出などを客観的に行う。分析では、授業形態や授業方法の適切性及び有効性ととも、シラバスとの整合性を評価し、学生のニーズを明確にした上で、課題を明らかにしていく。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート調査の分析結果は、全教員間で共有し、その後の授業改善法の検討につなげる。併せて、各授業担当教員には個別に結果を通知し、課題と改善策の検討を行う。

また、必要時、学長または研究科長等より、該当教員へ改善指導を行う。なお、検討内容は、学生に随時公開している、フィードバックする過程で学生とともに授業効果を高めて行くようなシステムとする。

アンケートの回答率の向上を上げていくように努める。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

博士後期課程においては、博士前期課程を基盤とし、人間に関する高い学識をもち、人々の健康と生活の支援を科学的に探究し、その支援の考究を自立して行うことができ、看護学の発展に寄与できる教育・研究者を育成することを目的としている。

昨年度からの教員組織に変更がなく、研究科委員会を通して設置の趣旨・目的の共通理解を図っていく。現在、コロナ感染症対策により、対面での研究科委員会は密を避けて実施していないが、HPやメールで実施している。また、「姫路大学大学院リーフレット」「姫路大学大学院募集要項」にアドミッションポリシー、教育目的、教育目標を明記した。

また、教員組織は、看護系教員を中心とした専任教授15名で構成しており、予定どおり授業運営している。今後も、設置計画を着実に履行するとともに、教育・研究の一層の充実を図り、教育目的を達成すべく邁進していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年6月末日 公表

b 公表方法

・委員会活動報告、個人別活動報告、個人研究業績報告として、研究科教員の活動実績を報告書としてまとめ刊行し、研究科教員と看護学部教員に配布している。

・大学全体の自己点検・評価報告書は昨年度作成し、認証評価を受ける準備は整っている。

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年度に評価機関（財）大学基準協会の評価を受審する予定で、既に資料は提出済みである。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。